

令和3年度			
講習の区分	<選択領域講習>受講者が任意に選択して受講する領域	講習時間数	6 時間
講習の名称	【選択】経済学および家族法をめぐる諸問題	講習形態	講義
開設者	長崎大学	定員	50 名
開設日/時間	令和3年8月26日(木) / 8:55~16:30	会場	長崎大学文教キャンパス(長崎市) 教育学部31番講義室
履修認定対象職種	教諭	主な受講対象者	中学校(社会)・高等学校(公民) 教諭
担当教員(講習代表者) / Eメールアドレス/TEL 永田 聖二(人文社会科学域) / kyoumen@ml.nagasaki-u.ac.jp / 095-819-2872			
担当教員(分担担当者等) : 池谷 和子(人文社会科学域)			
講習のねらい/講習方法/講習到達目標 講習のねらい：講義1・2を通じて、公民分野における経済学および最新の家族法の内容を会得する。 1. 民法の家族法部分を条文に則して解説し、昨今の改正も含め、家族と法という観点から考察する。 2. 線形代数の手法を利用した産業連関分析を学習することにより、資本主義経済の再生産構造を理論的に把握する。 講習方法：各講師が2時間30分ずつ講習し、担当講師の分野別に各30分間の筆記試験を行う。プリント資料を配付する。 講習到達目標： 1. 日本における家族法の内容を、最新の改正を含めて理解することができる。 2. ベクトルや行列など線形代数の初歩を学習し、それを応用した産業連関分析の手法を会得する。			
講習内容(概要) / 講習計画(時間毎の講習内容を含む) / キーワード 講習内容(概要) 講習1. 家族に関しては、民法の家族法の部分において、規定がなされている。「親戚とはどの範囲の人々か」「親権とは」「相続とは」等、最近の改正も含め社会科教員として、担任として、知っておくべき内容について講義を行う。 講習2. 経済の生産構造を産業別の一覧表形式で表示する産業連関表について学び、その応用として産業連関分析の手法を会得する。 講習計画・内容			
	内容等	時間	担当教員
	オリエンテーション	8:55~9:00	池谷 和子
	講義①【家族法をめぐる諸問題】(休憩10分間を含む)	9:00~11:40	池谷 和子
	筆記試験1	11:50~12:20	池谷 和子
	昼休憩	12:20~13:10	
	講義②【経済学における数理的手法】(休憩10分間を含む)	13:10~15:50	永田 聖二
	筆記試験2	16:00~16:30	永田 聖二
キーワード (家族) (産業連関分析)			
成績評価の方法	成績評価は、各講習担当者が行う試験の成績や講習中の課題への取り組み等から総合的に判断します。		
成績評価の基準	成績評価は、到達目標達成点を100点とし、総合点で60点以上を合格とします。		
履修認定の方法	成績評価の総合点で合格点に達した受講者に対して履修認定します。		
教科書・教材・参考書	指定図書なし。当日プリント資料を配付します。		
各自で準備するもの	筆記用具、令和3年版ポケット六法(有斐閣/2,090円)		
受講上の注意	1. 「講習の名称」が同じものは1度しか受講できません。 2. 視聴障害や聴覚障害などのため、受講に際して特別な配慮が必要な方は、受講申込前に事務局へお問合せ下さい。 3. 遅刻は原則として認めません。		

